

科目名	倫理・社会	英語科目名	Ethics and Social Studies
開講年度・学期	平成28年度・通年	対象学科・専攻・学年	3年 電気電子創造・物質・建築
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	2単位	単位種類	履修単位
担当教員	上野 哲	居室（もしくは所属）	講義棟2階
電話	0285-20-2100	E-mail	tueno@oyama-ct.ac.jp
授業の到達目標		授業達成目標との対応	
		小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE) JABEE 基準要件
1. 倫理思想史を踏まえ、倫理学の基本原則を説明できること。		①	D a, b
2. 自分自身の価値観や常識への疑義を、時間と空間の認識に関する哲学的解釈を踏まえて抱き、解消に向けた思考ができること。		②	B e
3. 独我論と不可知論の考え方を理解し、批判的に説明できること。		⑥	E f
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
到達目標1～3. 前期後期それぞれに実施する中間試験及び定期試験（計4回）において60%以上の得点により達成とする。			
評価方法			
前期後期それぞれに実施する中間試験及び定期試験（計4回）の成績：100%			
授業内容			
1. 倫理問題の解法			
2. 倫理的思考の道具			
3. 倫理学の2大基本原則			
4. 功利主義			
5. 規則功利主義と行為功利主義			
6. 義務論（定言命法と仮言命法）			
7. 自己決定とパターンリズム			
8. 絶対主義と相対主義			
9. アイデア論			
10. 物自体			
11. ウソと事実			
12. 物心二元論			
13. 経験論と大陸合理論			
14. 言葉と身体問題			
15. 絶対的自分と相対的自分			
16. 「時間」という謎			
17. 「存在」と「時間」			
18. ゼノンのパラドックス			
19. デモクリトスのパラドックス			
20. 最小単位の存在証明			
21. ポアンカレの宇宙仮説			
22. 空間の次元性			
23. 独我論（1）—矛盾の共存—			
24. 独我論（2）—主客対置と意識の問題—			
25. 独我論（3）—他我問題Ⅰ—			
26. 独我論（4）—他我問題Ⅱ—			
27. 独我論（5）—「みなし」構造—			
28. 独我論（6）—概念と実存の優位性—			
29. 独我論（7）—先入見は排除できるか—			
30. まとめ			
キーワード	功利主義, 義務論, パターンリズム, 相対主義, アイデア論, パラドックス, 独我論		
教科書	『テオリア 最新倫理資料集』第一学習社		
参考書	必要に応じて適宜紹介する。		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	政治・経済		
現学年の関連科目	国語, 歴史		
次年度以降の関連科目	哲学, 歴史学, 人間と科学Ⅰ/Ⅱ		
連絡事項			
シラバスの内容に変更があった場合は受講者に対して速やかに説明する。			
シラバス作成年月日	平成28（2016）年3月22日		